

2年目で見えてくる ノーリフティングケアの課題

これからもずっと続いていく組織づくりを目指して



特別養護老人ホーム ひまわり園



研修参加から1年までの経過

研修参加以前は、管理者、現場の職員ともに同じ目的に向いていなかった

研修参加から1年間取り組み



委員会発足

研修参加

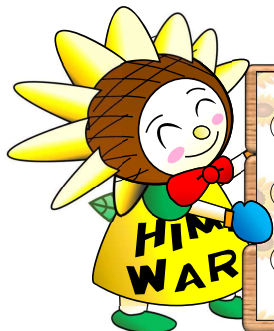
体制作り



同じ目的に向かって取り組み始めた。

2年目の課題は

ノーリフティングケアの定着を目指す



- ① 徹底した周知と委員会メンバーの増員
- ② 委員会メンバー、職員全体のスキルアップ
- ③ 利用者への優しいケア

ノーリフティングケア委員会メンバー

連携が取りやすいよう
同じ部署から選出



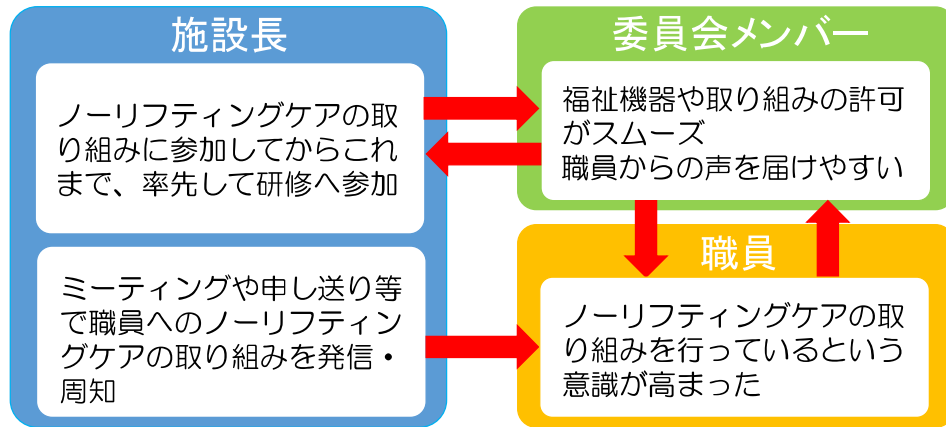
役割	委員会メンバー	リンクスタッフ
統括マネージャー	施設長	
健康管理	看護主任	看護師
技術教育	理学療法士	
プランニング	介護主任	介護主任・介護長
福祉用具管理	主任相談員	相談員

今のメンバーだけでは限界
リンクスタッフの役割が不透明

モチベーションの高い
リンクスタッフの補充
明確な役割を提示

活動の活発化
団結力の強化

施設長が統括マネージャーとして これまでの取り組みに参加



健康管理(看護主任・看護師)

<腰痛の原因となる動作>
ベッド上での「オムツ交換」「体位変換」



<解決策を提示>
ベッドを適正な高さまで上げる
ベッド柵を外す

周知だけではダメ！「目的」「必要性」を理解してもらうことが重要！！



ラウンド（巡視）
衛生委員会と協力

同じ視点を持ち実施
5S（整理、整頓、清掃、清潔、躰）
腰痛、怪我・転倒の視点

技術教育(理学療法士) モチベーション向上のため 見える化



職員の技術力向上だけでなく利用者への言葉かけや触り方など
「優しいケア」を意識して指導を実施

アセスメント・プランニング(介護長・主任)

アセスメント・プランニングした結果を
徹底して周知できていなかった

<動画作成>

現場でケア方法を継続して指導

<OJT>

常にケア方法を確認できる環境



